

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
愛知	1	半田市地域公共交通会議	<p>今回の調査により地域住民のニーズ把握や主要集客施設、高校生のアンケート調査により得られたデータの蓄積を分析することにより、ネットワークの形成に向け路線毎の役割を明確にすることができたものと認識しています。今後、更なるデータを分析する等、再編実施計画を踏まえつつ網形成計画を策定し、地域と協働で利用促進を図るとともに公共交通ネットワークの構築を期待します。</p>
		<p>半田市では、総合的かつ効率的な公共交通体系の構築が急務となっており、市が目指す将来都市構造の構築を支援する公共交通ネットワークの再編に向け、地域住民が乗りたくなる地域公共交通網の形成を目指し、半田市地域公共交通網形成計画策定のため調査を実施。</p> <p>○地域内の公共交通に関する現況調査                      主要集客施設において、利用交通手段や利用割合、バスが利用可能となる条件などを把握。また、生徒の大半が自転車通学している高校と駅から近いが坂の上にある高校の生徒等に対して、通学手段やバスの利用条件、利用意向などを把握。</p> <p>○地域住民ニーズ把握                      新たな公共交通網を構築する市の方針を伝え、市民から公共交通に関する意見などを聴取。</p>	
		<p>・半田市が目指すまちづくりや各種ニーズ調査等から得られた結果を踏まえ、半田市の地域公共交通に関する課題を抽出するとともにその対応を進め、パブリックコメントを経て、第4回公共交通会議(3月)で協議し計画を取りまとめる予定。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
愛知	2	<p style="text-align: center;">知立市総合公共交通会議</p> <p>知立駅周辺において連続立体交差事業、土地区画整理事業、市街地再開発事業、街路事業等の大型事業を進め、さらに立地適正化計画の公表も控えており、上位・関連計画で示される将来都市構造と連動した地域公共交通網の再構築を図る必要性が高まっていることから、持続可能な公共交通の構築を目指し、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施。</p> <p>○バス利用実態調査・バス利用者アンケート調査 名鉄バス愛教大線及びミニバス全コースを対象として実施し、バス利用の実態及びバス利用者の意向を把握。</p> <p>○住民懇談会 市内3地区(北部、中部、南部)ごとに属性の異なる市民の声を把握。 外出の際の問題点や利用しやすい公共交通にするためのアイデアを抽出。</p> <p>○交通事業者ヒアリング 市内の交通事業者に対し、安全運行に関する課題や市や地域への協力意向を把握。</p>	<p>今回の調査により住民やバス利用者、交通事業者といった多様なニーズの把握、公共交通の現状把握といった詳細なデータの蓄積がなされました。このデータをどう活用していくかが重要です。 今後これらの調査により得られたデータを基に、上位・関連計画のまちづくりと連携した網形成計画策定を策定し、持続可能な公共交通ネットワークの構築を期待します。</p>
		<p>・今後は、交通事業者ヒアリング、住民懇談会を通じ本市が目指す公共交通の姿をさらに検証し、平成30年度までには、知立市地域公共交通網形成計画案を策定する見込み。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
静岡	3	三島地域公共交通網形成協議会	<p>観光要素の強い地域であるため、調査事業においても観光需要を交えた調査により様々な情報を得ており、意見交換会等においてもニーズの把握を行っています。</p> <p>得られた情報を踏まえ、今後とも地域に適した持続可能なネットワークの構築に取り組まれることを期待します。</p>
		<p>三島市においては、三島駅を中心に、東・西・北部にバス幹線路線、南部に鉄道が存在。バス幹線路線は運行本数が多く、公共交通による人口カバー率も高い、一方、バス事業者が複数存在し、利用者にとってのわかりにくさが課題となっている。また、近年増加傾向にある観光客への対応など含め、地域公共交通の見直しの必要性が高まってきている。そこで、市の掲げる基本的な方針を踏まえ、市民の移動の利便性の向上、中心部での分かりやすさの向上、将来に向けた利用促進などを念頭に、地域公共交通網形成計画策定に向けた調査を実施。</p>	
		<p>○三島市の地域概況の整理、公共交通の現状の把握や市民ニーズの調査に加え三島駅における交通結節点調査を実施し、人口や高齢化率、施設分布、観光の状況、市民が主に利用する施設、観光客が集中する施設など状況を整理、また、鉄道、バス利用実態データに基づき利用状況の把握等を行った。</p> <p>・第2回協議会以降の追加調査、検討を踏まえ、網形成計画の素案を作成し、第3回協議会にて計画の方針や目標、取組み内容を提示し、今度中の計画策定を目指す。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
静岡	4	焼津市	<p>調査事業において利用者、交通弱者、学生等様々な利用者から詳細なデータが得られ、移動特性や移動需要を把握でき網形成計画の素案に反映できたことを評価します。今後は、まちづくりと連携した幹線軸と支線による公共交通ネットワークの形成と、持続可能な公共交通ネットワーク構築に取り組まれるよう期待します。</p>
		<p>焼津市は、志太平野の平坦な地域が多く、住宅地が広範囲に広がっている。JR線2駅が存在し、鉄道を經由して静岡市・藤枝市との交流が多いが、市内の南北を国道150号線が通るなど、自動車利用の利便性が高く、公共交通の利用者は減少傾向にある。このような中、地域の生活を支える、便利で効率的な公共交通ネットワークの構築を目指し、地域公共交通網形成計画策定に向けた調査を実施。</p> <p>○公共交通に関する現況調査、住民の移動特性及びニーズの把握、課題整理、基本方針・目標の設定、実施施策の検討を行い、当市が目指す公共交通ネットワークの姿、それを実現するための再編の方向性、基本方針、目標、実施施策について検討した。</p>	
		<p>・平成30年1月の協議会において焼津市地域公共交通網形成計画素案を協議し、その後パブリックコメントを実施し、平成30年3月に開催する協議会で再度検討したうえで計画を策定する予定である。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
静岡	5	裾野市地域公共交通活性化協議会	<p>外部要因により、各種調査事業を一部延伸しているが、地区ごとにワークショップを行い基本方針、事業メニューなどを網形成計画へ反映された。今後、延伸した調査をふまえ、将来的な市の公共交通のあり方を示した地域公共交通網形成計画を策定されるとともに、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組まれることを期待します。</p>
		<p>裾野市は、将来に渡って持続的かつ安定的に維持・発展するため、まちづくりの方針や路線バスの維持対応を踏まえ、路線バスの再編等、新たな公共交通などを組合せ、拠点間や拠点と郊外住宅地・集落の連携・強化に資するネットワークの形成が必要不可欠である。このため、広域アクセスに配慮しつつ、公共交通機関の機能分担と拠点機能の強化によるネットワークの再構築を目指し、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施。</p> <p>○地域データ等の分析に基づく基本方針と目標の検討、住民の意見聴取のためのワークショップの開催支援、公共交通システム運行基本計画(案)の策定、目標を達成するために行う具体的な事業の検討を行い、これらの調査結果等を地域公共交通網形成計画に反映するべく調査・検討を進めた。</p> <p>本調査事業で検討した基本方針、目標を基として実施事業をとりまとめ、パブリックコメントを経てうえで来年度6月頃の協議会で裾野市地域公共交通網形成計画の策定を目指す。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
静岡	6	東伊豆・中伊豆地域公共交通活性化協議会	<p>網形成計画策定のため様々な交通モードや、観光需要等について調査をおこなっており、そこから課題を抽出し、基本方針目標の設定へと順調に推移している。今後は、策定を進めている地域公共交通網形成計画により、まちづくりと観光とも連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組まれることを期待します。</p>
		<p>伊豆地域は、県内でも人口減少、少子高齢化が著しい地域であり、学校の統合や医療機関に限られる等の理由により、交通弱者は日常的に広域的な移動が必要となる。このような中、広域的な観点から、人口減少・少子高齢化社会に対応した持続可能な地域公共交通の維持確保や基幹産業である観光を支える地域公共交通の提供を行うことを目的とし、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施。。</p> <p>○地域の概況調査、移動実態及び利用者ニーズ調査、公共交通に関する課題整理を行い、これらの結果をもとに、基本方針設定、目標設定、計画案の策定を進める。</p>	
		<p>・生活利用の観点と観光利用の観点を念頭に基本方針を掲げ、それに対応する目標、取組を設定したうえで本年度中を目標に地域公共交通網形成計画を策定予定。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
静岡	7	牧ノ原市	<p>アンケート、OD調査等により地域に求められる公共交通のニーズが的確に把握できたことを評価します。 この結果を分析し多様な公共交通機関を連携させたネットワークの構築に取り組まれることを期待します。</p>
		<p>牧之原市では、都市計画マスタープランに基づく牧之原IC周辺の大規模商業施設計画や富士山静岡空港などの高台地域の発展により、将来的に市を取り巻くまちづくりが一変する可能性がある。そこで、新たな賑わい拠点である高台地域と既存市街地である臨海部とを公共交通ネットワークで接続する「富士山型ネットワーク構造」に資する路線再編を主な目的とし、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施する。</p> <p>○上位計画の整理、地域概況調査、公共交通概要整理、市民・バス利用者アンケート、OD調査、関係者ヒアリング、地域座談会等を実施し基本方針を策定。</p>	
		<p>・平成30年3月を目標として素案を作成し、パブリックコメントを経て6月頃に地域公共交通網形成計画を策定予定。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
岐阜	8	郡上市	<p>・調査項目、調査結果については、それぞれ公共交通会議の場で報告・共有されるとともに、網形成計画へ反映するための土台として活用することができたことを評価いたします。</p> <p>・地域公共交通網形成計画の策定に当たって、開催された住民懇談会など、高齢者等へのニーズにきめ細かに対応するためにも、引き続き開催をし、公共交通利用の意識付け、観光施策との連携など、利用者や地域住民の意識改革や新たな利用者の開拓への取り組みを推進されることを期待します。</p> <p>・計画の策定に当たっては、着実に事業が実施できるような計画・体制を心がけていただきますとともに、進捗状況等については、公共交通会議等で共有し進められるよう期待します。</p>
		<p>郡上市は、上位計画、関連計画と連携を図りつつ既存の計画を基本とし地域住民や利用者の意見を汲み取るため、地域公共交通検討会や地域公共交通懇談会を開催している。地域の意見を踏まえつつ、実状に即した地域公共交通体系の構築を目指し、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施する。</p> <p>○公共交通の現状調査・分析、地域住民・利用者ニーズの把握を行い、その結果をとりまとめるとともに、現在の課題を整理し、新たな計画での基本方針や取り組み事業の協議を進めた。</p>	
		<p>・地域公共交通網形成計画の期間について平成30年を初年とする5年間とし、持続可能な公共交通網形成に向け目標や実施方針、具体的な施策を掲げ取りまとめる予定。</p>	



## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
岐阜	9	下呂市	<p>・少子高齢化が進む貴市にとって、また観光地である貴市にとって、学生・高齢者・観光客の足の確保は重要な施策であるがゆえ、地域ごとの特有の状況に応じた交通施策が求められています。</p> <p>・アンケート回収率が50%を超えるなど、市民の公共交通に対する意識は高いため、それら意見を踏まえながら、地域合った運行体系の確立を目指していただくとともに、市民の期待に応える公共交通の構築を目指し取組を進められることを期待します。</p>
		<p>下呂市では、地域公共交通の将来像として、『いつまでも笑顔がつづく持続可能な公共交通の確保』を掲げ、市民への積極的な利用促進や市民自らが参画するような仕組みづくりなど、公共交通の維持に向けて官民一体となった取り組みを進めるとともに、人口減少時代における適切な財政投入による持続性のある公共交通の構築を目指し、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施。</p> <p>○利用者ニーズ調査、バス利用者アンケート、デマンド沿線住民アンケート、地域ヒアリング、自治会アンケート、高校生合アンケート等に取り組み、現状・実態を把握するとともに、上位関連計画及び下呂市公共交通計画の評価により個別課題を抽出・整理した上で対応方針を策定。</p>	
		<p>・地域公共交通会議で地域公共交通網形成計画の素案の段階から議論を進めており、平成30年3月に計画(案)を作成し、地域ごとの具体的な再編・施策についての協議を進め、その結果を踏まえて平成30年度に計画策定する予定。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
岐阜	10	白川・東白川地域公共交通活性化協議会	<p>・平成30年10月の期限(タイムリミット)を前に、2町村とその住民・運行事業者が一丸となって取り組まれ、昨年度から地域が主体となった運行体系の構築、無償の実証運行まで体制化することができたことを評価します。</p> <p>・現在の実証運行の課題・要望について速やかに対応いただきながら地域公共交通網形成計画をとりまとめていただき、H30.4高校生向け運行体制の構築、H30.10全体再編につなげていただく必要性は高いと考えます。</p> <p>・調整には多大な労力を要するに加え、あまり時間が無いとは思いますが、公共交通を必要としている利用者のために、引き続き取り組みを強化されるよう期待します。</p>
		<p>白川町・東白川村は、他の地域から独立したバス路線網を形成しており、運転者不足等の影響により減便・土日全面運休が発生し、高校通学に支障が出る等、若年層の流出・人口減少が加速する事態となった。そこで新しい地域公共交通システムの構築等を図るため、2町村合同で法定協議会を設置するとともに一体的な交通網整備を目指し、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施。</p>	
		<p>○現行・潜在的公共交通利用者のヒアリング調査、地域での懇談・議論の場の共有、地域公共交通網のありかたの検討を行い、現状把握、課題の整理・分析を進める。</p>	
		<p>・今後、白川・東白川地域公共交通活性化協議会にて、地域公共交通網形成計画策定の議決を経て、平成30年4月の計画送付を目指す。</p>	

## 調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
福井	11	福井鉄道福武線活性化連携協議会	<p>パークアンドライドの利用状況や、高校生を対象としたえちぜん鉄道との相互乗入利用状況、割引乗車券を利用している高齢者の分布状況など、多岐に渡る調査を実施したことについて評価できます。</p> <p>今後、「地域公共交通網形成計画」を策定することにより、まちづくりや広域観光等を意識した持続可能な公共交通ネットワークが形成されることを期待します。</p>
		<p>「福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画」は、「公共交通の将来像として「地域に親しまれ共に育む公共交通」の実現を目指し、計画期間を平成27年度から3ヵ年として策定したところであるが、現行計画を承認する第2期計画として、北陸新幹線の開業を見据え、各交通事業者と沿線市町の協働によって、福井鉄道を軸とする広域圏における地域公共交通をネットワーク化し、まちづくりや観光等と連携させ、車に頼り過ぎない持続可能な住みやすいまちの構築を目指し、地域公共交通網形成計画の策定(改定)に向けた調査を実施。</p> <p>○「福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画」の改定に向け、交通圏を構成する6市町の現況及び、公共交通の現況、問題・課題の整理、計画の達成状況の評価・検証など必要な調査を行う。</p> <p>・福井鉄道交通圏(福井市、鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町)を計画区域とし、平成30年度から5ヵ年計画として地域公共交通網形成計画を策定(改定)予定。</p>	